

ため池ハザードマップについての説明

◇この地図は地震によりため池が決壊し、ため池の水が一気に流れてきた場合を想定して、浸水区域、最大水深、到達時間を表示したものです。水深は時間とともに変化しますので、その最大の水深を表示しています。

◇浸水区域や到達時間は地震の規模やため池の状態によって変わります。ため池が決壊は地震発生後いつ起こるのか解りません。到達時間は決壊からの時間（図中「○分後」の数字）を表しています。

◇大きな地震の時は浸水する場所から至急に避難できるように日頃から備えておくことが重要です。

◇非かんがい期に、ため池の水位を下げておくことも安全対策のひとつになります。

◇解析結果は浸水範囲がやや大きくなる傾向がありますが、大雨時と重なった場合などを想定していませんので、大雨時には周辺河川などの増水と合わせ、浸水が着色した範囲外に及ぶことも考えられます。地震単独時よりもさらに注意が必要です。

浸水深の目安

3.0m以上

2.0～3.0m未満

1.5～2.0m未満

1.0～1.5m未満

0.5～1.0m未満

0.5m未満

浸水が少ない場所や外に出ることが危険な場合は、家の2階へ避難することも考えましょう。

歩ける水深の目安はひざくらいまでですが、流れが速いときは水深が浅くても大変危険です。

凡例



災害時の指定避難所

到達時間

※ため池が決壊してから水が到達するまでの時間

大字界

河川

主要道路

上池

神田池

長浜市ため池ハザードマップ

榎谷奥池

榎谷池

古池

上池・神田池(上野町)・榎谷奥池・榎谷池・古池(小室町)

地震の発生後はため池決壊の恐れがあるので高いところなどに避難しましょう

- ・上池、神田池、榎谷奥池、榎谷池は4池が同時に決壊した状況を想定しています。
- ・古池は池単独の決壊を想定しています。
- ・榎谷奥池・榎谷池の決壊は榎谷池から2池の水が一気に流れ出る状況を想定しています。
- ・同時に決壊した想定では互いの水が干渉し合うため、池単独の想定より高い水深が想定されます。

